

# あとがき

第十六回日蓮宗教化学研究発表大会は、平成二十八年一月二十七日、日蓮宗宗務院で開催されました。本冊子は、当日の発表内容を収録したものです。

平成二十七年の教化学研究発表大会は、諸般の事情により法華経・日蓮聖人・日蓮教団論研究セミナーをお休みとしたため、時期を交換して年明けの開催となりました。

本年度は、特にテーマを設定せずに発表者の募集を行いました。この為、様々な分野からのご発表を頂き、多種多彩なものとなっております。

本間・片桐両師のご発表は、現宗研からの要請に応じて頂き、教区の教化研究会議にて取り上げたテーマに基づいた内容をご発表頂きました。これは、教区において皆さんが話し合われた成果を全国の教師へ発信・共有する、という、一つの方法をご提案出来たのではないかと愚考致しております。是非ご一読下さい。

最後に、平成二十七年は戦後七十年という節目の年でした。戦後の宗教界を振り返るにあたってはいくつもの視点があるかと思いますが、今回は宗教者の平和運動について、佛教大学社会学部准教授大谷栄一先生をお招きして、「戦後日本の宗教者平和運動を再考する」との論題で特別発表をして頂いております。ご一読頂ければと存じます。